



「挨拶

いつも共栄を「鼻頂」にしてください。さるお客様の皆様
こんにちは！

共栄で営業をしております。郷津勇貴(ごうつ ゆうき)と申します。我々は広島県の片田舎、福山市という所に本社を構えるお棺のメーカーでございます。昔から共栄を知ってくださっている方、最近知ったという方、様々だと思えます。弊社に見学に来て頂いたお客様からも「こんなところだったんだ!」というお声をよく耳にします。ワタクシ、郷津は全国の共栄のお客様に「共栄ってこんな会社なんだ!」と共栄のことをもっと、よりたくさんの皆様へお届けしたいと思ひまして、この新聞を作成いたしました。初代編集長として素人ながら毎月欠かさず、「KYOEI新聞(通称KY新聞)」を発行したいと思ひます。お見苦しい所も多々あるかと思ひますが、読者の皆様のご意見が励みになります。これからどうぞよろしくお願ひ致します。

創刊号ということで、まずは会社の紹介からさせていただきます。ただきたいと思ひます。

株式会社 共栄 (1970年創業)

広島県福山市新市町金丸

代表取締役 栗原 正樹

従業員数40名



広島県の中でも2番目に人口が多い福山市ですが、その中でも我々が住む新市町という所は、夏にはホテル、冬にはイノシシが会社の前の道路で走り回っているような、風光明媚(悪くいうと田舎な場所)にあります。1970年に創業し、お棺の製造メーカーとして現在までたくさんのお客様の支えを頂きながら、営業しております。



社員紹介



郷津勇貴(ごうつ ゆうき)

KY新聞初代編集長(独身)

1991年6月28日生(27歳)

身長178cm 血液型A型 蟹座

担当地域: 広島・福岡・大分

私の担当地域の方からはごうちゃんの愛称で呼ばれています。(笑)初代編集長として、共栄の魅力を発信できるように取り組んでいきたいと思ひます。皆様の応援がこの新聞を継続する力となります。こんなこと知りたーい!という声がありましたら、お気軽にご連絡頂ければと思ひます。これからよろしくお願ひ致します!



共栄のお棺だけではなく、会社として共栄を知って頂く!という試みから始まったこのKY新聞です。顔が見える企業を目指し、これから色々なことを発信していければと思ひます。今後とも宜しくお願ひ致します。



弊社の特徴は、商品のラインナップが豊富であることです。細かい分類まで合わせる100種類を超える商品のラインナップがあります。棺の外装だけでなく、内装も桜やバラの柄を使ったもの、全く角がない流線型のお棺、海の上で走るクルーザーをイメージしたお棺。お棺だからこうだ!という固定概念を捨て去ったようなお棺を作り続けてまいりました。これからも、この場で商品の紹介や会社について、様々なことをお知らせしていければと思ひます。

共栄がある福山市は備後地域と呼ばれ、江戸時代より家具の製造が盛んな地域でありました。婚礼ダンスで有名な「府中家具」も備後地域の伝統工芸品として知られています。この家具の技術はお棺の製造にも活かされています。弊社を代表するお棺の「ナイアガラ」もこの技術が存分に使われています。

